

**FSC® ジャパン主催**  
**責任ある森林管理のための勉強会 第24回****近年の災害現場からみる「責任ある」森林管理****2025年6月22日(月) 13:30-15:00**

近年、気候変動に伴う異常気象の頻発・激甚化により、山林や流域を取り巻くリスクは急速に高まっています。それに伴い、林業には木材の生産だけでなく、土砂災害や洪水の防止、水源涵養など、地域の安全と暮らしを支える公共的な役割への期待がこれまで以上に寄せられています。林業者にとっても、川下に暮らす人々の生活を支える森林の管理者として、その責任を改めて見つめることが求められています。

本セミナーでは、長年にわたり森林流域社会環境学の研究に取り組み、『緑のダム科学』をはじめ多くの著書・編著を発表されてきた蔵治光一郎氏を講師にお迎えします。近年の災害現場の調査から見えてきた災害発生の具体的なメカニズムとは何か。そして、激変する気候のなかで、川下に暮らす人々は川上の森林管理に何を期待し、私たちはどのような責任を担っていくべきなのか。持続可能な社会の基盤となるこれからの森林管理のあり方を、科学的かつ多角的な視点から紐解きます。

**お申し込み方法**

以下のURL、あるいは右のQRコードからお申し込みください。

<https://us02web.zoom.us/meeting/register/pGBEFg3xQceDyarmaxibja>

- どなたでもご参加いただけます。
- 登録後、ミーティング参加に関する情報の確認メールが届きます。
- 定員(500名)に達し次第お申し込みを締め切らせていただきますのでご了承ください。
- いただいた個人情報は、FSCジャパンが参加者を把握し、セミナーをより良いものにするために使用させていただきます。
- セミナーの資料・録画は非公開とさせていただきます。

**講師 蔵治 光一郎 氏**

東京大学大学院農学生命科学研究科教授

東京大学附属演習林 富士癒しの森研究所所長

東京大学農学部林学科卒、青年海外協力隊員としてマレーシア・サバ州森林局森林研究所にて勤務、東京大学大学院博士課程修了、東京大学助手、東京工業大学講師等を経て2017年4月より現職。専門は森林流域社会環境学。主な著書に『森の「恵み」は幻想か』『「森と水」の関係を解き明かす』、編著に『長良川のアユと河口堰』『緑のダム科学』など多数。

「責任ある森林管理のための勉強会」は、FM認証取得者をはじめとする幅広いステークホルダーの皆様に責任ある森林管理に関する有用な情報を提供するため、様々なトピックで開催しているものです。

お問い合わせ・ご意見は担当：FSCジャパン 指針・規格マネージャー 三柴ちさと ([c.mishiba@jp.fsc.org](mailto:c.mishiba@jp.fsc.org)) までご連絡ください。